



2026年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年9月30日

上場会社名 ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9265 URL <https://www.yhchd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員 社長 (氏名) 山下 尚登
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 吉田 弘幸 (TEL) 092-402-2922
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第1四半期の連結業績(2025年6月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第1四半期	15,078	△0.7	36	△79.6	67	△64.9	△2	—
2025年5月期第1四半期	15,183	8.3	178	△9.1	193	△9.4	83	△48.6

(注) 包括利益 2026年5月期第1四半期 △21百万円(—%) 2025年5月期第1四半期 108百万円(△37.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第1四半期	△0.84	—
2025年5月期第1四半期	33.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期第1四半期	25,199	8,946	35.5
2025年5月期	27,549	8,988	32.6

(参考) 自己資本 2026年5月期第1四半期 8,936百万円 2025年5月期 8,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2026年5月期	—				
2026年5月期(予想)		0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年5月期の連結業績予想(2025年6月1日～2026年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	67,647	4.9	590	△29.6	632	△30.5	354	△42.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年5月期1Q	2,553,000株	2025年5月期	2,553,000株
2026年5月期1Q	12,927株	2025年5月期	86,958株
2026年5月期1Q	2,515,946株	2025年5月期1Q	2,478,756株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年6月1日～2025年8月31日）におけるわが国の状況は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善がみられる中、各種政策の効果により景気は緩やかな回復傾向の一方、アメリカの関税政策の影響による景気の下振れリスクに加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に影響を及ぼすなど、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療業界におきましては、人材確保のための処遇改善や働き方改革、業務向上のためのICT活用をはじめとする医療DXの推進、医療と介護の連携強化（地域包括ケアシステムの深化・推進）により、質の高い医療提供体制の構築が求められております。

このような状況の中、当社グループでは「地域のヘルスケアに貢献する」という経営理念の下、「中期経営計画（2025年5月期～2027年5月期）」の2年目として、基本方針である経営基盤の強化に向けた積極的な投資とグループ機能向上による相乗効果の発揮を図るとともに、人材基盤の強化と従業員ワークエンゲージメントを向上させながら、当社グループで働く人々にとって魅力ある組織づくりを目指しております。

中核事業子会社である山下医科器械株式会社においては、将来的な事業拡大を見据え、効率化と省人化に重点を置いた物流センターの在り方を模索しており、自動倉庫や搬送ロボット、倉庫管理システムなどのマテリアルハンドリング機器を積極的に導入し、自動化による業務効率化と労働環境の改善を両立させる物流体制の構築を進めております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、中核事業である医療機器販売業において検査・手術件数の増加により診療材料等の医療機器消耗品の需要が増加したものの、医療機関における設備投資需要が前年同期よりも減少したことにより、売上高は150億78百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。利益面につきましては、人件費の増加および子会社であるマイクロソニック株式会社における研究開発費の計上等による販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は36百万円（前年同四半期比79.6%減）、経常利益は67百万円（前年同四半期比64.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2百万円（前年同四半期は83百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、マイクロソニック株式会社が独自に研究開発を進めてまいりました乳房疾患の早期発見を目的とした医療機器（超音波画像診断装置並びに併用医療機器）「BreastScan」（ブレストスキャン）及び「Viewnus-Linear」（ヴィーナスリニア）については、医療機器として薬事認証取得・届出を完了いたしました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高はセグメント内の内部売上高を含んでおります。

① 医療機器販売業

医療機器販売業のうち一般機器分野では、一般医療機器備品やMRI、CT等の画像診断機器や放射線診断装置及び超音波診断装置の売上により15億87百万円（前年同四半期比15.0%減）となりました。一般消耗品分野では、汎用消耗品及び手術関連消耗品の売上により64億95百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。内視鏡、サージカル、循環器等により構成される低侵襲治療分野では、電子内視鏡手術システム等の内視鏡備品や、腹腔鏡システム等のサージカル備品、血管内治療、内視鏡関連消耗品の売上により34億76百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。整形、理化学、眼科、皮膚・形成、透析により構成される専門分野では、透析関連機器や整形外科関連の売上により31億76百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。医療情報、設備、医療環境等により構成される情報・サービス分野では、設備保守メンテナンスの売上により3億55百万円（前年同四半期比10.8%増）となりました。

この結果、医療機器販売業の売上高は150億90百万円（前年同四半期比0.6%減）、セグメント利益は3億57百万円（前年同四半期比20.1%減）となりました。

医療機器販売業の売上高は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額	前年同期比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
一般機器分野	1,866	12.3	1,587	10.5	△279	△15.0
一般消耗品分野	6,298	41.6	6,495	43.1	196	3.1
低侵襲治療分野	3,527	23.2	3,476	23.0	△51	△1.4
専門分野	3,164	20.8	3,176	21.0	12	0.4
情報・サービス分野	320	2.1	355	2.4	34	10.8
小計	15,177	100.0	15,090	100.0	△87	△0.6

② 医療機器製造・販売業

医療機器製造・販売業におきましては、グループ開発製品である整形外科用インプラントの製造・販売、および超音波を用いた医療用機器等の開発、販売を行っており、売上高は54百万円（前年同四半期比7.1%減）、セグメント損失は63百万円（前年同四半期は0百万円のセグメント損失）となりました。

③ 医療モール事業

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は17百万円（前年同四半期比8.9%増）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期比929.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は251億99百万円となり、前連結会計年度末に比べて23億49百万円減少いたしました。流動資産は、主に現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べて25億20百万円減少し、192億46百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億70百万円増加し、59億52百万円となりました。

（負債及び純資産の部）

当第1四半期連結会計期間末の負債は、電子記録債務の減少等により、前連結会計年度末に比べて23億7百万円減少し、162億52百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べて42百万円減少し、89億46百万円となり、自己資本比率は35.5%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期の連結業績予想につきましては、2025年7月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,698	3,236
受取手形、売掛金及び契約資産	12,215	11,685
商品	3,149	3,529
その他	733	823
貸倒引当金	△29	△29
流動資産合計	21,766	19,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,086	3,123
減価償却累計額	△1,814	△1,880
建物及び構築物（純額）	1,271	1,243
土地	1,983	1,983
建設仮勘定	27	168
その他	814	821
減価償却累計額	△718	△736
その他（純額）	96	85
有形固定資産合計	3,378	3,481
無形固定資産		
のれん	293	282
その他	80	81
無形固定資産合計	374	363
投資その他の資産		
投資有価証券	1,139	1,134
破産更生債権等	565	564
退職給付に係る資産	313	308
その他	576	664
貸倒引当金	△565	△564
投資その他の資産合計	2,029	2,107
固定資産合計	5,782	5,952
資産合計	27,549	25,199

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,576	8,210
電子記録債務	7,774	6,501
未払法人税等	193	13
賞与引当金	670	124
その他	873	938
流動負債合計	18,087	15,788
固定負債		
退職給付に係る負債	58	58
繰延税金負債	45	58
その他	368	347
固定負債合計	472	464
負債合計	18,560	16,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	494	494
資本剰余金	627	594
利益剰余金	7,206	7,019
自己株式	△231	△34
株主資本合計	8,096	8,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	637	632
退職給付に係る調整累計額	242	230
その他の包括利益累計額合計	879	862
非支配株主持分	11	10
純資産合計	8,988	8,946
負債純資産合計	27,549	25,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
売上高	15,183	15,078
売上原価	13,205	13,115
売上総利益	1,977	1,962
販売費及び一般管理費	1,798	1,925
営業利益	178	36
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	8
仕入割引	3	4
受取手数料	5	6
保険解約返戻金	-	14
その他	4	6
営業外収益合計	21	40
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	-	4
手形売却損	2	2
持分法による投資損失	1	-
その他	1	1
営業外費用合計	6	9
経常利益	193	67
特別損失		
段階取得に係る差損	3	-
特別損失合計	3	-
税金等調整前四半期純利益	190	67
法人税、住民税及び事業税	17	23
法人税等調整額	90	47
法人税等合計	108	71
四半期純利益又は四半期純損失(△)	82	△3
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	83	△2

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	82	△3
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	△5
退職給付に係る調整額	△3	△12
その他の包括利益合計	25	△17
四半期包括利益	108	△21
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109	△19
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
一般機器分野	1,866	—	—	1,866	—	1,866
一般消耗品分野	6,298	—	—	6,298	—	6,298
低侵襲治療分野	3,527	—	—	3,527	—	3,527
専門分野	3,164	—	—	3,164	—	3,164
情報・サービス分野	320	—	—	320	—	320
その他	—	58	—	58	—	58
内部売上高	△68	—	—	△68	△0	△68
顧客との契約から生じる 収益	15,109	58	—	15,167	△0	15,167
その他の収益	—	—	16	16	—	16
外部顧客への売上高	15,109	57	16	15,183	—	15,183
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	—	0	△0	—
計	15,109	58	16	15,183	△0	15,183
セグメント利益又は損失(△)	447	△0	0	446	△267	178

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△267百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△254百万円、棚卸資産の調整額△1百万円、のれん償却額△11百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年6月1日 至 2025年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
一般機器分野	1,587	—	—	1,587	—	1,587
一般消耗品分野	6,495	—	—	6,495	—	6,495
低侵襲治療分野	3,476	—	—	3,476	—	3,476
専門分野	3,176	—	—	3,176	—	3,176
情報・サービス分野	355	—	—	355	—	355
その他	—	54	—	54	—	54
内部売上高	△84	—	—	△84	—	△84
顧客との契約から生じる 収益	15,006	54	—	15,060	—	15,060
その他の収益	—	—	17	17	—	17
外部顧客への売上高	15,006	54	17	15,078	—	15,078
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	—	0	△0	—
計	15,006	54	17	15,078	△0	15,078
セグメント利益又は損失（△）	357	△63	1	295	△259	36

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△259百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△248百万円、棚卸資産の調整額△0百万円、のれん償却額△11百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
減価償却費	43百万円	43百万円
のれんの償却額	11百万円	11百万円